アドビ システムズ（株）
141-0032　品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

米国発表報道資料意訳

アドビ システムズ社、視聴覚的効果に優れた Flash ベースの e-Learning コンテンツを短時間で作成する Adobe Captivate 2 を発表

インタラクティブなシミュレーションや、デモンストレーションの作成、トレーニング参加者に応じた多種多様なシナリオの設定を簡単に実現

【2006 年 9 月 5 日】
米国カリフォルニア州サンノゼ発（2006 年 9 月 5 日）Adobe Systems Incorporated（NASDAQ：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ システムズ社）は本日、インタラクティブなシミュレーションや製品デモンストレーションおよびシナリオに基づいたトレーニング素材の開発を可能にする Adobe® Captivate™ 2 を発表しました。Adobe Captivate 2 は、Flash テクノロジーを基盤としており、プログラミングの知識やマルチメディアコンテンツの開発経験のないユーザでも、簡単に画面上の動作や操作を記録し、ナレーションやアニメーションが追加されたインタラクティブなシミュレーションや製品のデモを仕上げることができます。これによってトレーニングの専門家、教育者およびビジネスユーザは、採点結果に従った分岐やフィードバックなどのインタラクティブ性と、動画や音声を用いた視聴覚的効果に優れたコンテンツを短時間で作成することが可能です。Adobe Captivate 2 が備える豊富な分岐機能を活用することによって、さまざまな学習パスを視覚的にマッピングして、実務に即したシナリオの開発が可能になりました。

アドビ システムズ社のプリント & クラシックパブリッシング担当のシニアバイスプレジデントであるナレシュ グプタ（Naresh Gupta）は、「ビジネスの生産性を高める上で、トレーニングの専門家による優れた教材を提供するためのソリューションが求められています。シナリオの分岐や Flash Video の追加といった新機能を搭載する Adobe Captivate 2 によって、組織や業界によらず、魅力的でインタラクティブなコンテンツの作成が実現でき、トレーニングの実施にかかる時間や費用を削減することが可能です」と述べています。

Adobe Captivate 2 が備える直観的なインターフェイスと自動化された機能により、インタラクティブなシミュレーションとシナリオに基づいたトレーニング用のコンテンツを誰でも簡単に開発することができるようになります。コンテンツの作成者は、ソフトウエアのデモンストレーションやシミュレーションといったコンテンツを短時間で開発できるだけでなく、テキストによる説明やマウス動作の編集、受講者からのフィードバックを反映する機能を追加できます。ワークフロー機能が強化されたため、さまざまな学習パスを視覚的に分岐させることにより、シナリオに基づいたトレーニングの迅速な開発が可能です。また、Adobe Captivate 2 の新しいシミュレーションウィザードによって、ソフトスキルシミュレーションの開発、プレースホルダースライドへのコンテンツの追加、簡単なポイント & クリックによる分岐設定が可能となりました。

インテル ® の e-Learning テクノロジーマネージャー、フランク グエン（Frank Nguyen）氏は、「Adobe Captivate 2 の機能拡充により、アドビ システムズ社は e-Learning のための多目的ツールを保有することになりました。コンテンツの作成者は、ソフトスキルシミュ

レーションや作業シミュレーション、シナリオに基づいた指示、パフォーマンスサポートシステムといった複雑でインタラクティブなコンテンツを、現在提供されているソフトウエアシミュレーションと同等の使いやすさで開発できます」と述べています。

Adobe Captivate 2 は、6 億人以上の Web ユーザが閲覧可能な Flash フォーマットのコンテンツを自動で生成します。これにより Adobe Captivate 2 のユーザは、表現力豊かな Flash Video コンテンツによって視聴者に関心を持たせることができるだけでなく、プロジェクトライブラリ内のメディアコンテンツを簡単に再利用や管理ができます。また、Adobe Captivate 2 の新機能であるズーム効果やグレイアウト効果によって、学習者の集中力を高めることも可能です。

Adobe Captivate 2 を利用すれば、基本的なソフトウエアデモンストレーションからシナリオに基づいたシミュレーションまで、多彩なコンテンツ開発が可能です。作成した素材を柔軟に既存のシステムやプラットフォーム上で閲覧、操作することができます。同製品は軽量なファイルサイズでありながら高品質のコンテンツを作成し、さらに、SWF、EXE、ポッドキャスト向け MP3 など、さまざまなファイルフォーマットを生成できます。Flash ユーザは、プロジェクトファイルを Flash オーサリングツールに直接書き出すことで、先進の編集機能とスクリプティングを活用することが可能です。Adobe Captivate 2 コンテンツは、Breeze、Authorware®、Questionmark Perception、SCORM/AICC 互換の学習管理システム（LMS）など、他の e-Learning ソリューションと同時に利用したり統合することが可能です。

Adobe Captivate 2（Windows® 版）の詳細は以下の URL をご参照ください。
http://www.adobe.com/jp/products/captivate/

価格と発売時期について

Adobe Captivate は、2006 年 11 月 10（金）から国内での提供が開始されます。

Adobe Captivate 2（Windows 版）アドビストア提供価格（送料別）

■ 通常版 パッケージ製品	90,300 円（本体価格 86,000 円）
■ アップグレード版※1 パッケージ製品	45,150 円（本体価格 43,000 円）
■ 通常版 ダウンロード価格※2	86,000 円
■ アップグレード版 ダウンロード価格※2	43,000 円
■ アカデミック版	29,400 円（本体価格 28,000 円）

※ 1 アップグレード版の対象製品は、Macromedia Captivate および RoboDemo5 となります。RoboDemo4 またはそれ以前のバージョンは対象となりません。

※ 2 ダウンロード製品は発売日以降の提供になります。

必要システム構成

Adobe Captivate オーサリング環境

- インテル Pentium® III 600MHz クラスのプロセッサ
- Microsoft® Windows 2000 日本語版、または Windows XP 日本語版
- 256MB 以上の RAM（512MB 以上を推奨）
- 100MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- 800x600 の画面解像度をサポートするモニタ（1,024x768 推奨）
- プロダクトアクティベーション（ライセンス認証）を行うためのインターネット接続環境または電話回線

パブリッシュ・記録作業のために必要なソフトウエアと周辺機器

・Microsoft Internet Explorer 5.0 または 6.0
・Macromedia® Flash® Player 6 から Adobe Flash Player 9 までのいずれかの Flash Player
・録音作業のためのマイク
・スピーカおよびサウンドカード

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザのアイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト http://www.adobe.com/jp に掲載されています。